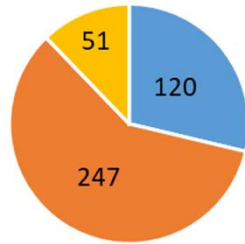


# （農業用施設） 県内地域における農業気象災害の傾向

## 【全体概要】

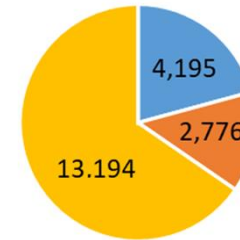
- （図左） 農業用施設における農業気象災害の発生件数は、過去30年間合計で418件。台風が120件、降雹・強風・大雨が247件、降雪が51件となっている。
- （図右） 被害金額は、過去30年間合計で20,165百万円。台風が4,195百万円、降雹・強風・大雨が2,776百万円、降雪が13,194百万円となっている。

災害種類ごとの件数（件）



■ 1. 台風 ■ 2. 降雹・強風・大雨 ■ 3. 降霜 ■ 4. 降雪 ■ 5. 落雷

災害種類ごとの被害金額（百万円）

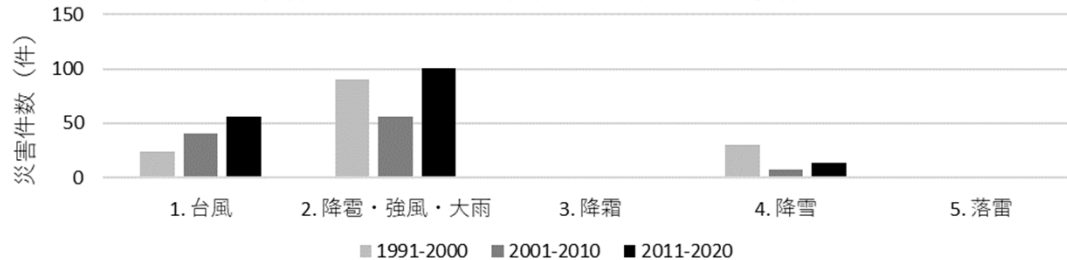


■ 1. 台風 ■ 2. 降雹・強風・大雨 ■ 3. 降霜 ■ 4. 降雪 ■ 5. 落雷

## 【災害別の10年ごと（1990年代・2000年代・2010年代）の傾向】

- （図左） 災害件数について。年代順に、台風は、24件、40件、56件。降雹・強風・大雨は、90件、56件、101件。降雪は、30件、7件、14件。
- （図右の1） 台風による被害金額は、2010年代が最も大きく3,860百万円、1990年代は233百万円。2000年代は102百万円。
- （図右の2） 降雹・強風・大雨による被害金額は、1990年代が最も大きく1,161百万円、2000年代は495百万円。2010年代は1,120百万円。
- （図右の4） 降雪による被害金額は、2010年代が最も大きく11,985百万円、1990年代は1,116百万円。2000年代は92百万円。
- 台風の強度が強まることが予測され、また大雨の強度や頻度も増加傾向が確認されており\*1、被害の拡大が懸念される。

災害種類ごとの件数 10年ごとの変化



災害種類ごとの被害金額 10年ごとの変化

